

令和5年度東京農業大学 外国人・帰国子女入学試験問題

科目	英語	学科	学科	受験番号	氏名
----	----	----	----	------	----

I Read the following passage and choose the best answer.

問題文につきましては、著作権の関係上、入試問題には記載しておりません。

問題文

「Noam Chomsky『The Architecture of Language』(Oxford University Press 2000) (pp.2-3)」

1 Which of the following is the closest in meaning to the underlined word domination? 1
① subservience ② sovereignty ③ solemnity ④ democracy

2 Which of the following is the closest in meaning to the underlined sentence "some special knowledge that others can't attain without special means or special college education or whatever"? 2
① a few great opinions that people don't get with no reliance on special ways
② few superior statements that one doesn't obtain without a good amount of means
③ certain information that people can't get with no recourse to exceptional ways
④ none of the above

- 3 Which of the following is the most suitable word for ()? 3
- ① However ② Although ③ So ④ When
- 4 Which of the following is **NOT** correct about the passage? 4
- ① The author attempts to study human language using the approach of natural sciences.
② The author argues that the study of human language and hard sciences are the same.
③ The author states that we should avoid self-serving pretense.
④ The author claims that simple things ought to be put simply.
- 5 Which of the following is the most appropriate title for the passage? 5
- ① Language and its Use
② The Acquisition of Language
③ The Science of Human Language
④ The Evolution of Human Language

II Identify the underlined expression that must be changed in order to make the sentence grammatical. If the sentence is grammatical, then put ④ in the box.

- 1 John washes often his dog and cat in his backyard on Sundays. 1
- ① ② ③
- 2 Mary was believed to open never all the doors in her grandparents' house in San Francisco. 2
- ① ② ③
- 3 Bill expected him to seem to me to be intelligent, which made me irritated. 3
- ① ② ③
- Note : *him* refers to Bill and *me* refers to the speaker.
- 4 The district attorney proved that the defendants were guilty during each trials. 4
- ① ② ③
- 5 Who will be the best for us to get their mother to talk to? 5
- ① ② ③
- 6 Which type of journal article did you file it without reading? 6
- ① ② ③
- 7 What do you think that Mary claimed that Stuart saw the man? 7
- ① ② ③

- 8 Tell me the reason why Mary or John went there last week. 8
- ① ② ③
- 9 Who do you think that saw Mary last month at Tokyo University of Agriculture? 9
- ① ② ③
- 10 Who wonders which picture of whom Bill bought yesterday? 10
- ① ② ③

III Choose the word or phrase that best keeps the original meaning of the sentence if it is used in place of the underlined expression.

- 1 An indispensable member of the circus troupe is the clown. 1
- ① obligatory ② optional ③ enchanting ④ essential
- 2 Even grownups are not immune to the humorous appeal of the performer. 2
- ① susceptible ② insusceptible ③ asleep ④ sleepless
- 3 Conversely, human's curiosity has also contributed to the advancement of civilization. 3
- ① similarly ② equally ③ contrarily ④ controversially
- 4 Behind one door was a lovely cat; behind the other was a savage tiger. 4
- ① fierce ② domesticated ③ calm ④ roaring
- 5 The classic story of misfortune brought about by excessive curiosity is contained in this book. 5
- ① cheap ② moderate ③ insufficient ④ extravagant

令和5年度 東京農業大学 外国人・帰国子女入学試験問題

第1問 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

「情けは人の為ならず」という諺^{ことわざ}がある。これは、情けをかけることは、相手のためにならないから、厳しく当たりなさい、という意味では全然ない。そう誤解している人が多いから、たびたび語られている。この諺は、「」という意味だ。

他者を許容することが、自分の得だ、という考え方は、「なんだ、結局は利己的ではないか」と穿^{うが}った見方もできるが、そう考えてもけっこうだと思う。自分の得がいけないはずはない。ボランティアで人のためになりたい、と頑張っている人だって、そうすることで自分が満足できるのだから、自分のために行動している、と考えられる。

アそんな聖人みたいな真似^{まね}は、自分にはとても無理だ、と感じる人も多いかもしれない。自分は自分の好きなように生きる。自分の勝手だ。自分に素直でいれば、どうしても他者とぶつかるのは避けられない。そういうときに引いてしまっただけは損をする。喧嘩^{けんか}はしたくないけれど、主張を通していかないと、社会では生きていけない。なめられるばかりだ。そんなふうを考える人がいるだろう。この気持ちは、大変よくわかる。僕も実はずっとそう考えていた。僕の母親がそういうタイプの人で、人に負けるな、といつも教えられたものである。

そういった自己中心的な①傾^{かた}コウは、イ多かれ少なかれ誰でもが持っていて、たとえばスポーツだったら、負けた悔しさをバネに、いつか自分が勝者になるんだ、と子供たちを指導しているはずである。相手の気持ちを考えて、などとは教えない。勝負のときは、勝つか負けるかだ。

仕事も、基本的に勝負である。相手よりも有利に、そして先に行くことが、成功を導き、仲間はみんな喜び合い、個人も満足を得る。勝つことは、誰かが負けることなのに、そんなことは気にしてはいけない、という不思議な「慣例」になっている。【1】

社会で生きていくためには、この勝負の原則に必ず支配されることになるだろう。これを完全に②カイ避^かするには、それこそ出家するとか、聖人になるとか、ホームレスになるとか、そういった方法しかない。突き詰めて考えれば、そうなる。

しかし、それもまた拘りすぎている、ということ思い出してほしい。そもそも、なにものにも拘らない、というところから始まって、自分に拘ることをやめよう、となった。その結果、自然に相手を許容できる。だが、それらは、すべてにしか実現しないだろう。徹底的にはできないものが、世の中には多いのだ。徹底的にすると、すなわちなにかに拘ることになる。【2】

なにものにも拘らない、という姿勢は、その姿勢自体にも拘らない。ということは、はなにかに拘るし、拘るにしてもほどほどになる。そのあたりをほんやりとさせなければ、このポリシーが成り立たなくなる。ここが、面白いところというか、実に本質的なところなのである。【3】

完璧なものを追求してしまうのは、言葉信仰の弊害である。人は言葉を信じているから、物事を言葉にしたとき、そこで削ぎ落とされたものを忘れてしまう。言葉はデジタルで、定義があり、その言葉が示す存在を指定し、規定する。しかし、現実言葉のようにきっちりとは区別できない。

たとえば「花」というものを考えてみればわかる。花と花でないものは、はっきりと区別できるだろうか。花が枯れて変色し、散っていくとき、どこから花でなくなるのか。花のようなものはいくらでもあるが、本当に花かどうかは、簡単には見極められないものが多々ある。【4】

「拘る」という行為も、さまざまな条件とともに、行動と考え方を③ホウ含^く含^めっていて、人によって、場合によって、捉え方が異なる。また、拘り方にも多種あり、その程度だってアナログだ。どの程度までを拘りというのか、人によってイメージはだろう。

そういったものをひっくり返して、ほんやりと「花」そして「拘る」と指差しているだけである。つまり、ウ花のようなものが花であり、拘るみたいな行為が拘ることなのだ。

「本質」というものは、結局はほんやりとしたものである。本質だから、ずばりこれだ、と示せるものではない。不確定性原理のように、突き詰めていくほど、不確定になる。それが、現実というものであり、その中で我々は生きている。少しでも自分が進みたい方向へ、そして可能なかぎり他者に迷惑をかけず、折合いをつけつつ、歩いていくのである。

その歩み方を、言葉で表そうとしている。きっちりとマニュアルのように定義して、手取り足取り指示することは、どだい無理な話だ。【5】

僕は、「なにものにも拘らない」ようにしよう、と自分で決めたとし、実際それをモットーに生きてきたが、そもそもそれを決めたのは、「まえがき」にも書いた不純な動機からだ（すなわち、インタビューで④座^ざユウの銘^{めい}をきかれたときに、考えずに答えられるから）。

エこの不純な動機自体が、既に拘ることの一つであり、矛盾しているのである。

もちろん、その「矛盾」もまた、くじらを立てるほど悪い状況ではない。矛盾があるから絶対に避ける、という規則が

あるわけでもない。矛盾はつきものというか、どうしたって、どこかに矛盾が生じる。僕は、「矛盾を許容することが優しさだ」と書いたこともあるくらい、けっこう矛盾を認めている。大きな矛盾は、明らかに⑤シヨウ害となるから、できるだけ避けたいけれど、小さい矛盾は、まるごと抱え込んでしまえば良いではないか、という程度の余裕が欲しいところだ。その余裕から、他者に対する許容が生まれる、という意味である。

(森 博嗣『なにものにもこだわらない』より)

出典：森 博嗣『なにものにもこだわらない』(PHP 研究所)

問1 傍線部①～⑤のカタカナを漢字に直したものと正しいものを、次の各群の1～5のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

- ① 傾コウ (1 考 2 好 3 降 4 肯 5 向)
- ② カイ避 (1 会 2 介 3 改 4 回 5 戒)
- ③ ハウ含 (1 包 2 放 3 法 4 方 5 報)
- ④ 座ユウ (1 友 2 有 3 右 4 由 5 遊)
- ⑤ シヨウ害 (1 障 2 症 3 焦 4 涉 5 償)

問2 空欄 に入る最も適当な文を、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

- 1 自分の得の為にも、他者からの情けを許容するのは考えものだ
- 2 他者から情けを受ける為には、自分の得を優先してはいけない
- 3 人に情けをかけることが、回り回って、結局は自分の得になる
- 4 他者にはいくら情けをかけたとしても、かけすぎることはない
- 5 他者を許せる度量を持たなければ、人として生きる価値はない

問3 傍線部ア「そんな」の指す内容として最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

- 1 自分の満足のためだけにボランティアをすること
- 2 利己的ではないかという穿った見方もできること
- 3 自分の得がいけないことではないと主張すること
- 4 他者を許容することが、自分の得だと考えること
- 5 人はみな自分のために行動していると諦めること

問4 傍線部イ「多かれ少なかれ」の意味に最も近いものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

- 1 是が非でも 2 大なり小なり 3 遅かれ早かれ 4 右を見ても左を見ても 5 勝っても負けても

問5 空欄 ～ に入る語句の組み合わせとして最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

- 1 (B・ほどほど C・ときどき D・さまざま)
- 2 (B・のちのち C・たまたま D・はんはん)
- 3 (B・つぎつぎ C・たびたび D・かずかず)
- 4 (B・いろいろ C・ますます D・もろもろ)
- 5 (B・ばらばら C・せいぜい D・てんてん)

問6 傍線部ウ「花のようなものが花であり、拘るみたいな行為が拘ることなのだ」とあるが、この一文の内容とほぼ同じものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

- 1 なにものにも拘らないとすると、相手を許容できなくなる。
- 2 言葉はデジタルで、定義があり、存在を指定し、規定する。
- 3 完璧なものを追求してしまうのは、言葉信仰の弊害である。
- 4 言葉を信じる人は、言葉の意味を削ぎ落とすことを忘れる。
- 5 同じ言葉でも、花はデジタルで、拘るはアナログといえる。

問7 傍線部E「この不純な動機自体が、既に拘ることの一つであり、矛盾しているのである」とあるが、それはなぜか。最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

- 1 なにものにも拘らないというモットーは、生きるための方法としては不純といえるから。
- 2 なにものにも拘らないと決めることと、インタビューの答え方とは同列にできないから。
- 3 なにものにも拘らないというマイナス思考は、生き方の動機としてふさわしくないから。
- 4 なにものにも拘らないというモットーは、なにものという言葉がそもそも不確定だから。
- 5 なにものにも拘らないといいながら、インタビューの答え方に拘っていると見えるから。

問8 空欄 に入る語として最も適当なものを、画数が5画の漢字1文字で答えなさい。

問9 本文には次の一文が抜けている。この一文が入る場所として最も適当なものを、本文中の【1】～【5】のうちから一つ選びなさい。もし、そういうことが本に書いてあって、その本さえ読めば、誰もが救われ、成功するというのなら、全世界の人が、既にその本を読んでいるだろうし、その本以外のものは不要になってしまう。

問10 本文の内容と合致するものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

- 1 自分に素直でいれば、どうしても他者とぶつかるのは避けられないが、そういうときに引いてしまえば、損をしてしまうので、主張は通していかなければいけない。
- 2 仕事も基本的に勝負なので、成功を導き、仲間はみんな喜び合、個人も満足を得るためには、相手よりも有利に、そして先を行くことを心掛けたいものである。
- 3 世の中には、徹底的にはできないものが多いので、徹底的にするためにも、なにものにも拘らないという姿勢自体に拘ることが、面白くて、本質的なところである。
- 4 本質をぼんやりとしたものにさせないためにも、少しでも自分が進みたい方向へ、そして可能な限り他者に迷惑をかけず、折合いをつけつつ、歩いて行くのがよい。
- 5 矛盾はつきものといえるので、小さい矛盾は、まるごと抱え込んでしまえば良いではないか、という程度の余裕を持つことによって、他者に対する許容が生まれる。

第2問 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

願いをかなえたい、つまり理想を実現したいと希望し、理想の世界に入り込もうと行動を起こした時、そこには必ず境界があります。現実と理想の境界です。境界を乗り越えていかなければ、理想の世界へ たどり着けません。だからこそ、必ずといってよいほど境界では、やっかいな問題が待ち受けています。困難が降りかかってくる。そんな境界 めぐるドラマをはっきりと示してくれるのが、昔の物語です。怪物や鬼など強大な敵や、時には神など 現れて、主人公に苦難を与えます。その苦難 打ち克った時、主人公には驚くような変化が訪れます。宝物を手に入れたり、別人のような成長を遂げたりする。そのような物語には、まったく新しい自分になりたいと願う、私たち人間の切なる望みが封じ込められているのです。

怪物や鬼と戦わなくても、境界を越える冒険の旅は十分成り立ちます。それが理想と現実の境界をめぐる旅です。私たちは理想を求めると現実が邪魔をする。それでもなお、 を実現しようとするれば、 を に合わせて変容させるか、捨て去らなくてはならない。でも逆だっていいのではないか。理想を大事にするなら、現実の方を捨て去ることだってできるはずだ。理想を捨てたくない！と思って、今いる社会の中から出ていく①センタクシだってあるはずだ。誰も守ってくれない、安定、安心からほど遠い世界へと、飛び出して行く——それはもう、冒険の旅です。冒険と言っても、超自然的な存在と戦うだけではない。人間的な危機と戦うのも、十分に冒険です。古来、人々はそういう冒険者に憧れ続けました。そして、物語の形で描き出そうとした。描き出して自分たちの理想を託そうとしたのです。千年以上も前の、そういう冒険者を紹介しましょう。

- (I) エネルギーにあふれ、女性にも積極的にアプローチする。
- (II) 昔あるところに、一人の若者がいました。
- (III) ところが、それがかえって人から敬遠される原因を作ってしまうのです。
- (IV) この人、とても良い家柄に生まれて、周りの期待感も高かったのですが、どうも生きるのが上手じゃありません。

皆さんが社会に出て、そういうことになったら、どうしますか？今だったら、転職を考えるでしょうか。引っ越すという手もあります。転職したり転居したりすれば、だいぶ②カンキョウが変わります。違う世界も開けてくるかもしれない。でもずいぶん苦労しそうです。アフリカとか、アジアでも遠い国に行けば、なかなか冒険的です。まったく知らない人や物事に会い、新しい自分へと脱皮できるかもしれない。そういう冒険をその主人公もしました。今の私たちであれば遠い外国に③ヒツテキするような、東国に行って住もうと、仲間を誘って出かけたのです。本来生きるべき場所、京の都を捨てていったのです。いったいそれは誰かといえば、ア『伊勢物語』の主人公です。

『伊勢物語』といえば、平安時代にできた最古の歌物語です。和歌を中心とした短い物語が、125段ほど集まってできています。作者は不明ですし、成立もよくわかりません。原型となる章段ができたのは、9世紀に遡れるかといわれています。主人公は「男」とだけ呼ばれていますが、どう見ても、^{ありわらのなりひら}在原業平（825～880年）という有名な人物を想像させるように書かれています。きっと昔の人は、実在の業平とこの物語の「男」とを重ね合わせ、業平の情報で補いながら味わったことでしょう。平安時代に生まれた古典作品の中でも、『古今和歌集』やイ『源氏物語』などと並んで、もっとも重要視され、後世にも非常に影響を与えました。日本を代表する古典の一つとしてよいでしょう。高校の教科書にも、『伊勢物語』のいくつかの章段が、必ず④ケイサイされています。その中でもとくに有名な章段を取り上げてみましょう。[H]、有名な古典だからといって、けっして恐れることはありません。実はとても身近で、わくわくするようなスリリングな展開を見せていて、[I]深く共感できるお話なのです。でなければ、千年以上も大事にされるはずはないですね。もちろん在原業平のことを知らなくてもちゃんとわかるようにできています。[J]、原文を味わってみましょう。

むかし、をとこありけり。そのをとこ、身をえうなきものに思ひなして、京にはあらじ、あづまの方に住むべき国求めにとていきけり。もとより友とする人ひとりふたりしていきけり。道知れる人もなくて、まどひいきけり。

（その昔、ウある男がいた。その男は、自分がいらぬ人間だと思ひ込んで、もう京にはいらぬ、東国の方に自分の居場所を探しに行こうと思つて、出て行つた。古くからの友人を、一人二人連れて行つた。道がわかる人もおらず、迷いながら行つたのだつた。）

『伊勢物語』第9段、^{あずまくだ}「東下り」などと呼ばれている章段の始めです。旅の文学の代表、などといわれたりもします。もちろん、旅は非常に困難な時代です。命の危険と隣り合わせでした。今だったら、食料だけを手に、現金もカードも身分証明書も携帯電話も持たず自転車やヒッチハイクで日本中を旅するようになるのでしょうか。それはもう工冒険といつてよいですね。さあ、冒険の旅の始まりです。

（渡部泰明『国語をめぐる冒険—国語は冒険の旅だ—』より）

出典：渡部泰明『国語をめぐる冒険—国語は冒険の旅だ—』（岩波書店）

問1 傍線部①～④のカタカナと同じ漢字を用いるものを、次の各群の1～5のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

- ① センタクシ
- 1 周囲のシセンが一人に集まる。
 - 2 後輩をシドウする立場となる。
 - 3 すらりとしたシシの持ち主だ。
 - 4 祭りは大雨でもジシされた。
 - 5 友人の結婚式のシカイをする。

- ② カンキョウ
- 1 親の言葉にカンメイを受ける。
 - 2 カンジョウ 8号線を北上する。
 - 3 利益を世の中にカンゲンする。
 - 4 カンコウバスで半島をめぐる。
 - 5 新人のカンゲイ会が開かれる。

- ③ ヒツテキ
- 1 同じ派閥の中でテキタイする。
 - 2 多くの間違いをシテキされる。
 - 3 水はイツテキも無駄にしない。
 - 4 ケイテキを鳴らして注意する。
 - 5 グタイテキな例を一つ挙げる。

- ④ ケイサイ
- 1 膨大な月日がケイカしている。
 - 2 受賞者をケイジ板に張り出す。
 - 3 利害カンケイを越えた間柄だ。
 - 4 ケイトウ立てて物事を考える。
 - 5 毎日ケイゾクして観察された。

問2 空欄 **A** ～ **D** に入る助詞を、次の1～5のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。(同じ数字を複数回使用しないこと)

- 1 も 2 は 3 へ 4 に 5 を

問3 空欄 **E** ～ **G** にはそれぞれ「理想」か「現実」が入る。最も適当な組み合わせを、次の1～6のうちから一つ選びなさい。

- 1 (E 現実 F 理想 G 現実)
- 2 (E 現実 F 現実 G 理想)
- 3 (E 現実 F 理想 G 理想)
- 4 (E 理想 F 現実 G 理想)
- 5 (E 理想 F 理想 G 現実)
- 6 (E 理想 F 現実 G 現実)

問4 本文中の (I) ～ (IV) は順番が違っている。正しい順番として最も適当なものを、次の1～6のうちから一つ選びなさい。

- 1 (IV → I → II → III)
- 2 (IV → I → III → II)
- 3 (IV → II → I → III)
- 4 (II → IV → I → III)
- 5 (II → III → IV → I)
- 6 (I → IV → III → II)

問5 傍線部ア『伊勢物語』と同じ平安時代の成立で、女性が主人公の作品を、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

- 1 竹取物語 2 古事記 3 平家物語 4 徒然草 5 奥の細道

問6 傍線部イ『源氏物語』の作者を、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

- 1 ふじわらのみちつなのは 藤原道綱母 2 むらさきしきぶ 紫式部 3 せいしょうなごん 清少納言 4 いずみしきぶ 和泉式部 5 すがわらのたかすえのむすめ 菅原孝標女

問7 空欄 **H** ～ **J** に入る語句を、次の1～5のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。(同じ数字を複数回使用しないこと)

- 1 さあ 2 ただし 3 しかも 4 すると 5 それとも

問8 傍線部ウ「ある男がいた」の文を単語に区切ったものとして、最も適当なものを次の1～5のうちから一つ選びなさい。

- 1 ある男が/いた
- 2 ある/男が/いた
- 3 ある/男/が/い/た
- 4 あ/る/男/が/いた
- 5 あ/る/男/が/い/た

問9 傍線部エ「冒険」とあるが、作者の主張する「冒険」とはどういうものか。「理想」と「境界」という二つの語句を用いて、一文を作りなさい。(24字以上30字以内で、句読点も字数に入るものとする)

令和5年度 東京農業大学 外国人・帰国子女入学試験解答欄

第1問

問1	①		②		③		④		⑤	
----	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

問2	A		問3	ア		問4	イ	
----	---	--	----	---	--	----	---	--

問5		問6	ウ		問7	エ	
----	--	----	---	--	----	---	--

問8	E		問9	【	】	問10	
----	---	--	----	---	---	-----	--

第2問

問1	①		②		③		④	
----	---	--	---	--	---	--	---	--

問2	A		B		C		D	
----	---	--	---	--	---	--	---	--

問3		問4		問5	ア		問6	イ	
----	--	----	--	----	---	--	----	---	--

問7	H		I		J		問8	ウ	
----	---	--	---	--	---	--	----	---	--

問9									

科目	学科	受験番号	氏名
日本語	学科	番	